

五箇公一氏 講演会

生物多様性異変と私たちの生活

～新たなる自然共生社会を目指して～

11/15 土
13:30-15:30
受付 13:15 無料



手賀沼は、2001 年に全国水質汚濁ワースト 1 を脱却。来年度で 25 年を迎えます。しかし、生態系の回復は進まず、沈水植物の絶滅、ハスの消失、野鳥も激減。外来水生植物の再繁茂も懸念されています。手賀沼に命の脈わいを取り戻すため、次の 25 年に手賀沼の目指すべき将来像を流域市民の皆さんと考えていきます。

五箇公一（ごかこういち）国立研究開発法人 国立環境研究所 生物多様性領域（生態リスク評価・対策研究室）特命研究員。研究課題：侵略的外来種の生態リスク評価。農学博士（京都大学）。生態学、遺伝学、ダニ学。

会場：我孫子市生涯学習センター アビスタ 1 階 ホール

■対象：一般市民

■定員：100 名

申込み ★申込み先着順

申込みフォームの QR コードを読み取り、必要事項を入力ください。

<https://forms.gle/jPyAcKiYYdFbR1RW8> から入力できます。

問合せ 手賀沼流域フォーラム実行委員会 事務局 竹内

電話 090-3907-8355 メール tenganumaforum@yahoo.co.jp



■主催：手賀沼流域フォーラム実行委員会 ■後援：公益財団法人山階鳥類研究所

パネル展 11月3日（月/祝）～ 9日（日）我孫子市生涯学習センター アビスタ1階 ストリート
流域7市開催手賀沼モグリウムワークショップ参加の子どもたちによる沈水植物ガシャモクの観察記録展示